

## 第三期中期目標素案（案）等に関する意見について

## 1. 第三期中期目標素案（案）に関する意見

	委員	意見	市としての考え方
①	古角委員	冒頭の「人間自身が生み出した、社会及び自然環境の複雑で急速な変化に起因する諸問題を克服し」とあるが、これから生み出される課題を解決するのも大学としての役割ではないか	ご指摘を受けて「人間自身が生み出す、社会及び自然環境の複雑で急速な変化に起因する諸問題を克服し」と案の修正を提案します。（Ⅰ）
②	内田委員	国立大学や私立大学と違うことを明確に打ち出すことが大切である。市が設立団体であるため、まずは市のために貢献することが大切である。そのため、「知の創造と継承をめざして真理を探究するとともに、」「それに基づく教育によって国際社会・地域社会の発展に貢献することのできる優れた人材を育成し、」は「研究」「教育」の順番になっているが「研究」よりも人材を育成することである「教育」の方を先に掲げることが望ましいのではないか。	素案では、公立大学としての立場や役割について、「 <u>名古屋市を設立団体とする名古屋市立大学は、市民によって支えられる市民のための大学</u> 」や「 <u>私たちのまち名古屋の大学と実感される、全ての市民が誇りに思う愛着の持てる大学として活動する使命をもつ</u> 」と示しております。また、社会貢献については「 <u>少子化・高齢化が進行する社会の現状を踏まえて（中略）国際化の推進に寄与する</u> 」と具体的に記述しております。「研究」「教育」の順番につきましては、「公立大学法人名古屋市立大学定款」（平成17年議決）では「真理の探究とそれに基づく教育により優れた人材を育成する」とあり、それに沿う形で記載させていただきました。社会貢献の考え方についてはこのような形で記載しており、記載が弱いとのご指摘もいただいておりますが、「教育」「研究」と同様に、「社会貢献」においても全学が一体となって取り組むものであると認識しております。各論や中期計画を検討する際に議論し、その考え方が伝わるように記載してまいります。
③	皆見委員	公立大学であることを考えると社会貢献の記載が弱いのではないか。	
④	佐分委員長	2段落目の「名古屋市を設立団体とする（中略）優れた人材を育成し、広く市民、行政などと連携、協働することを通じて社会にその成果を還元する（中略）使命をもつ。」とあるが「その成果」とは何を指すか明示すべきである。また文章を短くすべきではないか。	ご指摘を受けて「名古屋市を設立団体とする（中略）優れた人材を育成する。また、広く市民、行政などと連携、協働することを通じて社会に教育・研究の成果を還元する（中略）使命をもつ。」と案の修正を提案します。（Ⅱ）

	委員	意見	市としての考え方
⑤	五島委員	<p>グローバルをめざさなければローカル（地域への貢献）は成り立たない、市大もいよいよそのような時代に突入すると感じる。</p> <p>入ってきた人たちをどのように定着させるかというフローがよくわからない。惹きつけて活性化するというフローでないと理解しにくいのではないか。</p>	<p>素案では、名古屋市を設立団体とする公立大学としての基本的な理念と取組内容を示していきたいと考えております。</p> <p>どのように学生を集め・育て・輩出していくかの順番に沿って記述することにより大学の柱である「教育」の視点からは非常にわかりやすい内容になるのではないかと期待されます。</p> <p>しかし、名古屋市を設立団体とする公立大学であることから、第三期中期目標期間中に市立大学が取り組む事項としては、市を取り巻く諸問題の解決に寄与すること、そのことを通じて市とともに発展していくことを中心に掲げていくべきであるとの考えに基づき記述をしております。</p> <p>引き続き、どのように学生を集め・育て・輩出するかについて、議論してまいりたいと考えております。</p>
⑥	古角委員	<p>アンケートを見ると「地味」とか「知名度が低い」という意見が目立つので、やはり開かれた大学としてあるべきなのだろうと思う。</p>	<p>素案の中の「国内外に広く大学の魅力を発信することにより、多くの若者や研究者、行政などに選ばれる」という部分で広く学生や研究者を集めるという意識も盛り込んでおり、また、「地域に開かれた大学」として地域貢献に取り組むことによって「<u>全ての市民が誇りに思う愛着の持てる大学として活動する使命</u>」を果たしていくものであると認識しています。</p>
⑦	佐分委員長	<p>世界から人を集めるように努めるべきではないか。県や市の産業政策と絡めて行うとよいのではないか。</p>	<p>大学に求められる役割は「教育」「研究」「社会貢献」の三つの柱であり、それを支えるために経営や財務の基盤強化が必要であると認識しております。まずは基本的な理念において「教育」「研究」「社会貢献」を示し、今後策定する各論部分においてそれを支える経営や財務の内容を示していきたいと考えております。</p> <p>また、このような観点から、運営基盤の強化について本文中に「ガバナンス機能を強化し、全学が一体となって教育・研究・社会貢献に取り組み」と記載しております。</p>
⑧	皆見委員	<p>中期目標には財務内容含めて6項目あるが、素案の位置づけを考えると素案にかかっているのが「教育」「研究」「社会貢献」だけでよいのか。</p>	<p>大学に求められる役割は「教育」「研究」「社会貢献」の三つの柱であり、それを支えるために経営や財務の基盤強化が必要であると認識しております。まずは基本的な理念において「教育」「研究」「社会貢献」を示し、今後策定する各論部分においてそれを支える経営や財務の内容を示していきたいと考えております。</p> <p>また、このような観点から、運営基盤の強化について本文中に「ガバナンス機能を強化し、全学が一体となって教育・研究・社会貢献に取り組み」と記載しております。</p>
⑨	佐分委員長	<p>財務内容の改善などは議論になったので入れることを検討してはどうか。</p>	<p>大学に求められる役割は「教育」「研究」「社会貢献」の三つの柱であり、それを支えるために経営や財務の基盤強化が必要であると認識しております。まずは基本的な理念において「教育」「研究」「社会貢献」を示し、今後策定する各論部分においてそれを支える経営や財務の内容を示していきたいと考えております。</p> <p>また、このような観点から、運営基盤の強化について本文中に「ガバナンス機能を強化し、全学が一体となって教育・研究・社会貢献に取り組み」と記載しております。</p>

## 2. 第三期中期目標を作成する際に踏まえるべき視点（案）に関する意見

委員	意見
佐分委員長	市立大学の存在意義を整理する必要がある。アンケートでは「おとなしい」「もっと全国的に」と言いながらも、病院が素晴らしい貢献とある。総合大学と言いながらも「医療系」とそれ以外の二つに分かれているように感じる。新学部を起点にして総合大学としてのつながりを深めていくとよいのではないかと感じる。
佐分委員長	文系学部が本当に必要なのか議論する必要がある。
内田委員	今後の教育実施体制について、例えば三重大が東京大学と研究分野で勝負しても勝てない。名市大としても、名古屋大学の真似をして同じような教育実施体制をめざすよりは、歴史のある医療系学部と経済学部を活かした形で新たな特色を生み出していくのが良いのではないかと考える。医療経済マネジメントコースはそのような考え方に沿うものである。
内田委員	法人化の一番の目標は運営基盤の強化である。一般的には市立大学としては、ガバナンス機能を強化し、市民に対して情報を公開することは大切である。これからは、事務職員については専門的な職員を養成することが大切であると考えている。そのために専門的な職員を養成し、処遇（課長級以上のポストに就任するなど）することが重要である。専門的な職員とは、例えば、医療、教育カリキュラム、産学官連携などの分野について教員以上に精通し、教員と協働できることが必要である。教員はマネジメントについて経験を積む機会がないため、事務職員が全体をマネジメントしているという自負をもって担える組織を築いていくことが大切である。
内田委員	市民からの救急に対するニーズは非常に高く、特に一次救急は高いと思われる。名市大が全てを担う必要はないが、例えば、市民病院の医師確保について協力するなど、名古屋市における救急体制の整備に貢献する必要がある。災害対策についてもしっかりと取り組む必要がある。
内田委員	これから30年先を見据えると医療は質的・量的に転換し、急性期医療に対する需要は減っていき施設医療にシフトしていくことになると予想されている。そのような状況を見据えて市大病院も質の転換が必要になってくるのでそのための準備が必要だ。また医師の育成の観点からも看護師はもちろん、介護士との協働が必要になってくるだろう。
内田委員	運営費交付金については、一定金額を約束して、赤字が出ても補てんせず、黒字が出ても返納させず、市大病院で自由に活用できるようにすることが大切である。そのような中で病院が経営感覚を養い、例えば高額な先進医療機器の購入などについて地域のバランスなども考慮しながら購入していくことなどが必要である。